

令和4年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市音楽文化ホール	所管課 TEL	文化観光部文化振興課 内線3153
所在地	松本市大字島内4351番地	設置年月	昭和60年4月（同年10月開館）
施設設置目的	市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図るため		
施設概要・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・メインホール：音楽専用ホール（固定席693席）、シューボックス型、ワンフロア ・小ホール：多目的ホール（可動席約180席）、残響可変装置あり ・練習室等：第1～第3練習室、喫茶室（38席） 		
指定管理者名（選定方式）	一般財団法人松本市芸術文化振興財団（特命）		
指定期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日（1カ年）		
指定管理者の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設貸館業務 ・施設維持管理業務 ・文化事業（コンサート招聘事業・自主企画事業等） 		
利用料金制の導入	あり 利用料金制委託料併用方式		

施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比（%）	対前年比（%）
	年間利用者数	100,000	53,468	53.5%	190.1%
	施設利用料金収入	19,600,000	16,552,450	84.5%	134.8%
	自主事業等参加人数	20,435	8,597	42.1%	197.3%
	自主事業等事業収入	18,810,000	15,129,500	80.4%	278.6%
	（特記事項） 自主事業等参加人数の実績値の大幅減については、12,000人程度の入場を見込んでいた共催事業（島内灯籠まつり）が中止となったため。				

事業収支 （単位：円）	指定管理者収支（令和4年度）				市の収支			
	年度計画額		収支実績額		令和4年度決算		令和3年度決算	
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	収入（歳入）	指定管理料（利用促進含む） 102,610,000 利用料収入 19,600,000 自主事業収入 18,980,000 雑収入 790,000 計 141,980,000	指定管理料（利用促進含む） 107,318,359 利用料収入 16,552,450 自主事業収入 15,129,500 雑収入 748,655 計 139,748,964	公共施設目的外使用 490,950 計 490,950	公共施設目的外使用 426,580 計 426,580			
支出（歳出）	人件費 【内訳】 ・給与手当 ・法定福利費 ホール管理費 【内訳】 ・旅費交通費 ・通信運搬費 ・修繕費 ・手数料 ・光熱水料費 ・賃借料 ・委託料 ホール事業費 【内訳】 ・旅費交通費 ・消耗品費 ・印刷製本費 ・租税公課 計 141,980,000	人件費 【内訳】 ・給与手当 ・法定福利費 ホール管理費 【内訳】 ・旅費交通費 ・通信運搬費 ・修繕費 ・手数料 ・光熱水料費 ・賃借料 ・委託料 ホール事業費 【内訳】 ・旅費交通費 ・消耗品費 ・印刷製本費 ・租税公課 計 139,490,272	指定管理料 83,688,359 利用促進委託料 23,630,000 事務費等 739,811 【内訳】 ・看板設置用地借上料 ・運営委員会費用弁償 委託料 317,053 【内訳】 ・建築物定期点検 ・地下タンク配管調査 工事請負費 3,850,000 【内訳】 ・喫茶室空調更新工事 計 112,225,223	指定管理料 76,220,000 利用促進委託料 21,073,930 事務費等 6,199,370 【内訳】 ・看板設置用地借上料 ・ケーブルリール更新修繕 委託料 3,677,300 【内訳】 ・パイプオルガン耐震工事調査 ・樹木伐採 ・樹木選定 工事請負費 3,116,300 【内訳】 ・Wi-Fi設備設置 ・温水配管スレーナー取替 ・火災報知器受信機交換 計 110,286,900				
損益	0	258,692	差引	-111,734,273	差引	-109,860,320		

（特記事項）

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準		
A	(1.0)	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7)	事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5)	事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0)	不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
69

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠	
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	利用者には公平な対応がなされており、アンケート調査でも懸念点は見られない	
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	就業規則、雇用契約書等が正しく定められている	
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	緊急時の連絡体制を定め、適切な対応がとれるよう整備されている	
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	自主事業の実施にあたっては保険を付保する等、対応がなされている	
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	指定管理法人が定める方針に基づき対策が講じられている	
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	適切な管理がなされており、問題は見られない	
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	A	経営は安定しており、財務諸表に懸念点は見られない	
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	A	財団事務局が会計事務所と連携するなど、十分なサポート・バックアップ体制が築かれている	
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	仕様書に示された業務を適切に行っている	
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	市とは密に連携できており、責任を持って取り組んでいる	
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	適切な体制がとられている	
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	施設長を中心に、適切に配置されている	
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	国の指針に則った積極的な改善がみられる	
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	職員に向けて研修を実施するなど、適切に実施されている	
		経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	会計書類は適切に作成されており、懸念点はない
			16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	施設管理については適切な範囲で専門知識のある第三者に委託されている
	17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか		3	B	実績報告は適切に作成されており、期限内に提出がされている	
安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	定期的に訓練が実施されており、対策を明確にしている		
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	A	日常の巡回や定期点検に加え、軽微な修繕は職員自らが行うなど、適切な管理がなされている	
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	A	広報チャンネルの拡大検討や改善に対して積極的に要望をあげるなど、積極的な事業運営を行っている	
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	新型コロナウイルスの影響はあったが、概ね計画に沿って適切に事業が実行された	
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	近隣住民・町会の要望に対応するなど、良好な関係を築いている	
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	自主事業を計画・実施し、ホール独自のホームページやイベント案内冊子を作成するなど、積極的な活動が見られる	
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	A	利用者からの意見を元にした臨機応変な対応がなされており、高い満足度を維持できている	
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	来館者に応じ、適切な対応が行われている	
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	利用者アンケートを実施し、業務改善・見直しに積極的に取り組んでいる	
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	セルフモニタリングに関する書類(実績報告書、事業報告書、アンケート調査)は適切に提出されている	
環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	松本市の取り組みに則り、エネルギー削減等に取り組んでいる		
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	利用のないときは照明や冷暖房を切るなど、経費削減に取り組んでいる	
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか(又は、利用者を確保できたか)	4	B	自主事業を除く管理経費の支出は、指定管理料の範囲内で実施されている	

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	①毎自主事業開催時 ②利用者懇談会
	調査対象	①来場者全員 ②利用者団体代表者等
	調査方法	①アンケート ②意見・要望聴取
調査結果	<p>・演奏会時のアンケートでは、生の演奏に触れられる喜びのご意見を多数いただきました。また、演奏会の開催時間について、夜間を敬遠される方が増えている印象を受けました。</p> <p>・利用者懇談会においては、新型コロナの感染症法上の対応の変化に伴う、今後の感染対策についての質問が多く見受けられました。</p>	
利用者からの意見 要望・苦情等	<p>【アンケートから抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策のためのアナウンスがわかりやすく具体的なのがとても良かったと思います。他のホールもこうであって欲しいです。 ・途中でドア全開にするのはやめて下さい。3部寒くて集中できませんでした。猛省して下さい。 ・コロナ対策が十分なされていたと思います。ボランティアの働きにも感謝です。 ・とにかく、海外の演奏家をたくさんよんで下さい。ピリオド楽器による演奏も…。 ・もっとポップな人も呼んで若い人にも興味をもってもらえたら。 <p>【利用者懇談会より抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染症法上の扱いが5類に下がった場合、これまで行ってきた業種別ガイドラインの遵守や、来場者の把握等の対応、ステージ上の最大収容人数の扱いなどはどうなるのか。(複数から) ・電子マネー等での支払いについて検討していただきたい。 ・各種申請書類等は、施設のwebサイトに掲載されていますか。 	

4 指定管理者による自己評価

令和4年度の 自己評価	<p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業、貸館双方において、徹底した感染対策が出来、クラスターの発生等を抑止できたものと感じています。ただ、コロナ禍も3年目ともなると、感染対策に対する個人個人の感じ方に大きな差が出ているように感じました。 ・コロナの影響が大きかったものの、利用料収入、自主事業収入ともに目標に到達できなかったのは残念な点です。ただし、指定管理料の目標値の設定方法がコロナ禍以前を想定していたため、特に利用料収入については回収が難しかったという感はありません。
要望・苦情への 対応状況	<p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、海外の演奏家も積極的に招聘していけるようになると思います。ただ、それと同時に国内の知られざる実力者も紹介して行きたい。 ・5類への移行後の対応について、個別の案件に対して説明したうえで、基本的にはコロナ禍前の状態に戻るといった案内をしています。 ・支払いの電子化については、少し気長にお待ちいただきたい。 ・webサイトへの帳票類の掲載については、前向きに検討中です。
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用率や、自主事業の集客について、いち早くコロナ禍前の状態に戻せるよう努力したい。自主事業においては、クラシックに必要以上に固執せず、音楽専門ホールにふさわしい範囲において、様々なジャンルの演奏会を企画し、更なる客層の拡幅に努めたい。 ・昨今の電気代を筆頭とした物価の上昇等に鑑みると、利用料金の値上げ等も検討課題としたい。 ・施設、設備の老朽化が進んでいるため、担当課や関係部署とも調整を密にし、長期修繕計画の策定等を行い、安心してご利用いただける施設の維持に努めたい。

5 市(所管課) による総合評価

総合評価（4段階評価）の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】 音楽文化ホールの設置目的に合わせた各種事業が計画・開催されている。新型コロナウイルスパイプオルガンやチェンバロなど、施設所蔵楽器による講習会やポジティブ・オルガンを用いたの保育園等でのアウトリーチ事業は非常に人気があり、地域の音楽文化振興への影響は大きい。 その反面、以前から指摘されているとおり、自主事業に要する経費が過大で、施設管理業務の効率化による黒字分を相殺する状況にある。適正な料金の設定、経費の削減については、引き続き一考を求めたい。</p> <p>【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】 — (設定していない。)</p> <p>【総合的な評価】 指定管理者は、施設の設置目的や性質を十分理解したうえで運営を行っており、問題は見られない。新型コロナウイルスによる影響は多少あったものの、事業を安全に進めるために工夫した運営がなされたとともに、問題が発生した際にも速やかに相談がなされている。 同施設の指定管理者として、今後も適切な管理がなされることを期待する。</p>
--

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
76

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
良好

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	
	調査対象	
	調査方法	
調査結果		
利用者からの意見 要望・苦情等		